

NEWSLETTER

Golden Ring



ITC-J COUNCIL No.7 Vol.31 No.2 Apr. 2019



出雲大社

カウンスルNo.7会長メッセージ

ITC-J 第37期テーマ

継承と創造 Succeed and Create

カウンスルNo.7 第31期テーマ

ビジョンとパッションを持って、あなたのミッションを



会長 竹内ひとみ

春爛漫の候、皆様はどんな春をお過ごしでしょうか？ 春は四季の始まり、物事の始まりの時期です。また、冬の寒さから開放され、植物や動物の活動が活発になる時期です。カウンスルNo.7第31期も半ばを過ぎ、各クラブの活動にも加速度がつき、更に活発な活動となることを期待しています。

私たちは毎月の例会で、何をどのように話すのかという課題を念頭に、コミュニケーション技術を学んでいます。言葉を使って自分の考えや気持ちを相手に伝えることは、本当に難しいことです。思いが

伝わるための最善の表現を選び、語りかけることにより、私たちは意思を伝えようとしします。どんな言葉を使うか、いかに使うかというテーマはITC-Jの会員のみならず、だれもが直面する課題です。言葉には、相手を元気づけ幸せにする力がある一方で、相手を傷つけることもあります。言葉の魔法とよく言われるように、思いを伝え人の心を動かす言葉には、人を魔法にかけるような力があるのです。その「言葉の力」をどのように使うかは、話し手のコミュニケーション技術次第です。

第2回会合のプログラムは、「言葉の力」をテーマに、ITC-Jのスピーチコンテストと落語をお聞き頂きます。それぞれのスピーカーが、日頃ITC-Jで学んだコミュニケーション技術を存分に活用して準備したスピーチを聞いて、各スピーカーの思いがどんな言葉でどのように伝えられたかをお楽しみください。また、日本で唯一の医師免許を持つ真打、春雨や落雷師匠の落語には、人の心を引きつける話術を含むコミュニケーション術が盛りだくさんです。日本の伝統芸術である落語を聞いて、笑いやユーモアのセンスを磨く機会としていただければ幸いです。

自分自身の可能性を追求し、皆とともに学ぶ楽しさを共有し、お互いに切磋琢磨いたしましょう。ITC-Jでの学びに終わりはありません。「言葉の力」を信じて、目指すはより良いコミュニケーションです。

新入会員の紹介

鳥取クラブ

中村 志乃 会員



この度、鳥取クラブへ入会させて頂きました中村志乃と申します。どうぞよろしくお願い致します。竹内ひとみ会長様よりお声がけ頂き、入会に至るまでに3度ゲストとしてご招待頂きました。その中で、会員の皆様のチームワークやおもてなしの心など、大変感銘を受け今後の私にとって必要な学びの場となるのではないかと入会させて頂きました。人と人の繋がりが希薄になり、多様なコミュニケーションが求められるようになりました。少しでも、自分自身がスキルアップし豊かな人生のきっかけ作りができるよう、まずは私自身が楽しんでまいりたいと思います。大変未熟ではありますがご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

鳥取クラブ

福田 真由美 会員



勤務していた企業を早期退職し、初めての営業の仕事に挑戦しています。営業の仕事に必要なコミュニケーション能力の更なるスキルアップのための学びの場として、また、自分を高めていくに適した会だと会社の先輩に声をかけて頂き、入会を即決しました。今まで時間に追われて過ごしてきたので、これからの長い将来、ゆとりのある豊かな気持ちで過ごせるよう、先輩方よりたくさんのごことを吸収させて頂きたい。また、まずはコミュニケーション能力のベースとなる穏やかな会話術を習得していきたいと思っています。

米子マンデークラブ

堀本 佳津衣 会員



入会の切っ掛けは、竹川さんと15年ぶりの再会でした。ITC-Jに入会させて頂き、入会間もなく、クラブメンバーの方の「練習の場だから」との声かけが、心をホッとさせました。私にとって、月一回の例会は、緊張感の中にも和やかな時間となっています。最近では、学んだ事を身近な環境に生かせたらと、『メタ認知力』学びの場として活用中です。初めての事も多いのですが、苦手意識をワクワク感に変え、この機会に出来る事を増やして行きたいと思います。どうぞ、宜しくお願い致します。

会員状況 会員数 2019.2.28 現在

鳥取	米子	倉吉	米子マンデー	出雲	とっとり砂丘	合計
23	13	30	17	31	20	134

第31回スピーチコンテスト 出場者の紹介

①会員歴 ②論題 ③題目 ④スピーチに向けて思うこと

英語の部



倉吉クラブ
上野 洋子 会員

- ① 2年 ② Shine
③ Our Time to Shine

スピーチコンテストの原稿を考えることで、自分のこれまでの人生を振り返ることができました。自分が、どれだけ周りの方々に助けられて来たか、どんなに幸運なのかをあらためて認識し、感謝の気持ちでいっぱいになりました。それにより当たり前だと思っていた毎日が、キラキラと輝いて見えるようになりました。自分のスピーチを聞いて、皆さんと一緒に輝く時間を過ごしていただけたら嬉しいです。



米子マンデークラブ
柳田 美奈子 会員

- ① 7年 ② 道
③ The Way to Go

ITC-Jは評価があり、評価されることによって今まで沢山の事を学ばせて頂きました。はっと気づきを与えられ、なるほど…と得心させられ。先輩方から教わったノウハウを踏まえつつ、何を伝えたいのか、その動機の整理をつけているのか？と自問しつつ備えたいと思っています。

日本語の部



鳥取クラブ
石前 富久美 会員

- ① 9年 ② いのち
③ 流れのままに

いつも楽しいスピーチをしておりました。そこに届いた今回の論題3つ。迷わず「いのち」を選びました。考えれば考える程奥が深く難しいテーマですが、日々普通に過ごしている私には、私の「いのち」の流れがあり、それに沿って笑ったり涙を流したりを繰り返しながら今日があることをお話ししたいと思います。



米子クラブ
間 朝美 会員

- ① 9年 ② 趣味
③ 私に興味をもたらした「偶然の出会い」

ここまで来られたのは、私一人の力ではありません。支えて頂いた皆さんの力があってこそだと思ふこの頃です。そして八雲立つ出雲の国を訪れ、この地に集う神々のパワーを皆さんと一緒に頂き、その日を楽しみたいと思います。



倉吉クラブ
倉光 千浪 会員

- ① 8年 ② 輝き
- ③ 輝け！おばちゃん

スピーチといえば、壇上に立った瞬間の心臓が飛び出しそうな緊張感は欠かせません。が、私の緊張感をほぐしてくれるアイテムを1つ、皆さんにご紹介します。それは、倉吉クラブの皆さんにかけて頂く、あたたかい『言葉の力』です。私の「やる気スイッチ」もON！本番では、いつもの笑顔もプラスして「共感」してもらえそうなスピーチを届けます。



米子マンデークラブ
小西 協子 会員

- ① 5年 ② 道
- ③ 二人の母

普段口下手で無口な私がカウンスルのスピーチコンテストに出場するなんて驚きです。でも、与えられたこの機会を有難いことと思い、クラブ代表としてベストを尽くします。スピーチでは、最近亡くなった実母と義母のエピソードをお話します。自分の感じたことをありのままに伝えることができればと思っています。



出雲クラブ
楠 智加子 会員

- ① 4年 ② 風
- ③ 気づき

出場が決まっておられた方がご事情がお有りになり、ピンチヒッターとして出場いたしました。お聞きした時は驚き動揺しましたが、これは私にチャレンジする機会を与えられたと捉え、はじめてのスピーチコンテストに臨もうと思いました。寺に嫁ぎ日常生活の中での様々な出会いや気づきから私なりの思いをお伝えしたいです。



とっとり砂丘クラブ
川口 真佐子 会員

- ① 27年 ② 大切なもの
- ③ 心に届いた説得

平成ってどんな時代？と尋ねられたとき、とっさに頭に浮かぶのは、“災害の時代”といっても過言ではないのでしょうか。日本各地で、大きな災害が途切れなく起きるたび、情報を発信する行政側と、情報を受け取る住民側との“悲しい食い違い”。情報をどのように伝えれば、住民のより早い避難行動に結びつき、最小限の被害に留めることができるのか。メディアの重要な役割も求められる今日、ようやく動き始めた地域防災について考えてみたいと思います。

スピーチコンテスト開催にあたって

コンテストの皆様、カウンスルスピーチコンテスト出場おめでとうございます。今期規則はスピーカー全員に同じ3つの論題が与えられることになりました。各クラブ会長、スピーチコンテスト委員長、会員の皆様のお蔭をもちましてカウンスルスピーチコンテストを開催できました。ありがとうございます。スピーカーの皆様は大変なお役ですが、インナーピース(平常心)を持たれ本番の緊張でもっと成長されることでしょうか。スピーカーの皆様の言葉を聞いて思いに気づく、心が通い合う素晴らしいコンテストになる事と思います。全員でITC-Jでの好日を喜びましょう。

カウンスルNo.7スピーチコンテスト委員長 小倉 恵子

Bulletin Board 掲 示 板

“春雨や落雷師匠のお達者落語会”

ITC-Jのメインイベント「スピーチコンテスト」の後は、楽しみながら勉強できるエンターテイメントです。

春雨や落雷師匠は、島根県松江市在住で、日本でただ一人医師免許を持つ真打の落語家でいらっしゃいます。お達者落語会は江戸古典落語と健康講話の二部構成で行われ、「笑って免疫力を高め、病気に打ち勝ちましょう！」と、笑いの不思議な力について面白おかしく語ってくださいます。ご参集の皆様のご心と体の癒しにもなりますことも期待しています。



春雨や落雷師匠(初代)

- ・本名 安部正之 島根県松江市在住
- ・(有)メディカルサポート代表
- ・日本医師会会員、日本形成外科学会会員、医学博士
国立佐賀病院、松江赤十字病院形成外科部長、
安部整形・形成外科理事長を歴任
- ・日本笑い学会会員

*平成18年 四代目春雨や雷蔵に入門
春雨や落雷を襲名

*平成21年 お達者落語会を主宰

*平成24年4月 一門の真打に昇進

*NHKラジオ深夜便出演歴、現在は山陰放送コメンテーターなどをつとめる



「ITC-J 第37期第2回年次大会」へ参加しましょう!!

テーマ「識るを楽しむ」のもと、2019年7月1日(月)、2日(火)の二日間ホテルグランヴィア岡山において開催されます。英語・日本語のスピーチコンテスト、興味深い教育セッション、講演会のプログラムが準備されています。久々の近距離での年次大会です。皆様、大勢参加いたしましょう!

編集後記

第2号をお届けします。表紙は、カウンスル会合開催地の象徴、出雲大社です。スピーチコンテストクラブ代表者紹介
新入会員3名の紹介などの掲載内容です。皆様に出雲大社の御加護がありますようにと祈りながら、第3号に向けての準備に入りました。

編集者 浜田一恵
編集スタッフ 竹川奈保子 柳田美奈子

ITC-J 宣誓 (Pledge)

**我々 インタラクティブトレーニング
イン コミュニケーション ジャパンのメンバーは、
世界中の相互理解促進のために、
コミュニケーション技術と 指導力の向上に
努めることをここに誓います。**

**We, as members of Interactive Training
in Communication-Japan,
hereby pledge to improve
our communication and leadership skills,
in order to achieve greater understanding
throughout the world.**